

資料 1-2

前橋市社会福祉審議会

第3回高齢者福祉専門分科会(R5. 3)

(1) アンケート調査の結果について

②在宅介護実態調査の実施概要

1 調査の目的

第9期まえばしスマイルプランの策定にあたり、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現にむけた介護サービスの在り方を検討する。

2 対象者

前橋市内の在宅で生活している要支援・要介護者のうち、本調査開始後、「更新申請・区分変更申請」をしている方

3 実施方法

- ・調査票を認定調査員が直接手渡しし、郵送回答による調査
- ・国が示した手法を活用し、「基本項目+オプション項目」の調査票を使用

4 実施期間

令和5年1月から、サンプル数として望ましいとされる600件を確保できるまでの期間

5 経過報告

集まったサンプル数 194件（令和5年3月10日時点）

当初、実施期間（サンプル数が600件に到達するまでの期間）について令和5年1月から3月までの3か月間を見込んでいたが、前回の調査時に担当ケアマネージャーへアンケート用紙を渡す事例があったことから、調査の趣旨を踏まえ、配布対象者の要件を認定調査時の立ち合いが家族の方のみとした。

そのため、前回調査と比較し一か月あたりの回収数が目標に達していない。

6 その他

次回の分科会にて集計結果を報告します。